

3-A-2. 化学製品（微粉体）共同輸送

＜三菱化学物流（株）＞

1. 概 要

項 目	内 容
物流共同化のタイプ	同業他社との配送の共同化
主な対象貨物	石油製品
導入時期	1997 年
月間取扱貨物量	30 トン／月

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 物流コストの削減

2) 狙い

- ・ 同業他社と共通のユーザーに対して共同輸送を行うことで、物流のコストを削減を狙った。
←同業他社と納入先が同一であり且つ、納入先の近隣に出荷工場があるため、長距離運行した後の帰り便を利用することでの、（従来は空車で戻る）物流コスト削減を狙いとした。

3. 対策効果

項 目	対 策 効 果 (実施前を 100 とした場合の実施後の数値: 実施後／実施前×100)
輸送コストの対策効果	44%

物流費削減として従来M社から平塚工場までの料金+S社から三重工場までの料金が発生していたところ、帰り便を使用した往復輸送を実施することで 44%の物流費削減となった。
(百万円／年)

- ・ 共同輸送前:9.9 百万円
- ・ 共同輸送後:5.5 百万円
- ・ 効果:4.4 百万円

4. 事業内容

対策実施前後の共同物流フロー

実 施 前

従来は、同業他社と同一の客先に納入していた。

- ・ 当社→四日市充填→神奈川県平塚市納入
- ・ 当社→四日市充填→三重県伊勢市納入
- ・ 同業他社 →五井市充填→神奈川県平塚市納入
- ・ 同業他社 →五井市充填→三重県伊勢市納入

実 施 後

立地条件として、客先の近隣に充填場所がある、お互いが復路は空車であることを利用し、往復輸送をかけることで共同輸送を図った。（下線部分：復路輸送）

- ・ 当社→四日市充填→神奈川県平塚市納入→五井市充填→三重県伊勢市納入
- ・ 当社→四日市充填→三重県伊勢市納入
- ・ 同業他社→五井市充填→神奈川県平塚市納入→四日市充填→神奈川県平塚市納入
- ・ 同業他社→五井市充填→三重県伊勢市納入